



かるがもの利用状況	
登録者数	154名
利用者数	32名
令和元年6月12日現在	

※利用者数は、年度累計数

かるがも病児保育室では毎年、年度が始まる頃に、新規登録者募集のため、近隣の各保育施設を通して、チラシと登録用紙を配布させていただいています。働いていらっしゃる保護者の方は特に、万が一お子さんが病気をしたときに、仕事が休めない・・・という時のために、かるがも病児保育室の登録をよろしく願います。

前年度の利用者数は年間延べ人数202名でした！



□熱が出たときに知っておきたいこと□

《解熱剤の使用について》

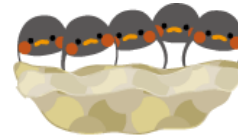
「熱冷ましはもらっていきますか？」

「これから熱が上がるかもしれないので、熱さましも出しておきますね。」

など、小児科受診すると、とんぷく薬が処方されることがあります。

処方されたからと、必ず使用しなければならないわけではありません。

とんぷく薬として処方される解熱剤は、病気を治すくすりではなく、熱によるつらさを軽くするための薬です。



☆解熱薬のつかいかた

- ・38.5度以上で、つらそうでぐったりしているようなら使います
- ・高熱でも、元気していれば、使用はしなくてもいいです
- ・一度使ったら、次に使うのは6時間以上あけましょう



病児保育でも、保護者の方の了解のもと、38.5度以上の熱が出ていて、ぐったりしていたり、小さいお子さんの場合には、機嫌が悪いと感じた時には使用しています。下がるのは1度程度ですが、そのおかげでご飯が食べれたり、午睡時にはうなされずにぐっすりと睡眠がとれて、体力の消耗を防げると感じることがあります。

参考文献：「お母さんに伝えたい子どもの病気ホームケアガイド第3版」



□お知らせ□

今年度からかるがも病児保育室は、利用対象年齢の上限を変更しました。

変更前：生後6か月から10歳 → 変更後：生後6か月から12歳

小学校高学年のお子さんでも病気のときは、留守番してもらうのが心配なときもあります、食事の面でも心配なときは、ぜひかるがも病児保育室をご利用ください。